

PAS心理教育研究所 卒後研修センター 2024年度 プログラム



〒153-0041

東京都目黒区駒場2-8-9

Tel & FAX 03-6407-8201

Mail: pas@pas-ins.com

ホームページ : <https://www.pas-ins.com/>

PAS 心理教育研究所 プログラム概要

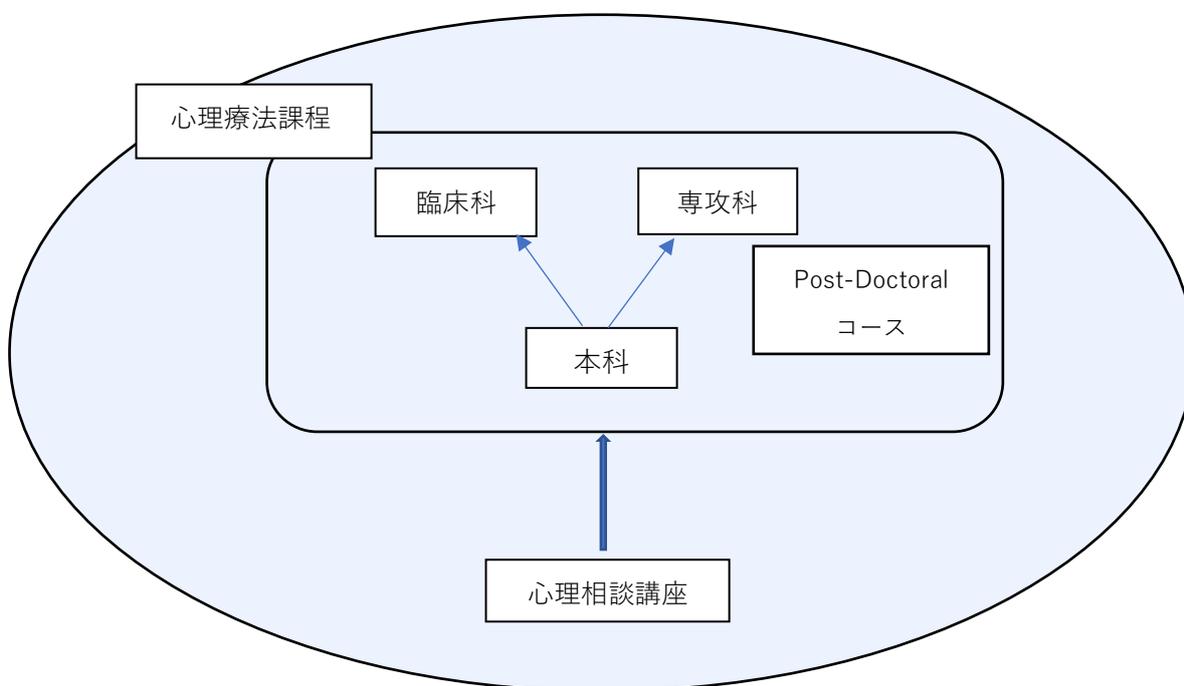
PAS 卒後研修センターでは、以下の訓練プログラムを提供しております。当センターでは毎月延べ400名に及ぶ専門家が自身の関心に応じて訓練を受けています。訓練期間や頻度、難易度など、多様な選択肢の中からご自分にあったプログラムをお選びいただけます。

1. プロフェッショナル・スクール (P.5)

- (1) 心理療法課程 本科コース (毎週9時間~/ 3年~)
- (2) 心理療法課程 臨床科コース・専攻科コース (毎週7時間~/ 2年~)
- (3) 心理相談講座 (1年~)
- (4) Post-Doctoral 研修・研究コース (半年~)

※ 各コース内で条件を満たす科目については臨床心理士資格認定協会研修ポイント申請を行います。

プロフェッショナル・スクールの流れ



2. 単発プログラム (P.7)

プロフェッショナルスクールに所属することなくご参加いただける科目・ワークショップです。月1回、週1回などルーティンで開催されるものや、年1回のワークショップなど、ご自身のご都合とニーズに沿ってお選びいただけます。いくつかの科目を組み合わせでご受講いただくことも可能です。

※ 条件を満たす科目は、臨床心理士資格認定協会研修ポイントの申請を行います。

- (1) プロフェッショナルスクール セミ・オープン
- (2) 基礎科目：基礎理論と技法
- (3) 専門科目：専門技法
- (4) ワークショップ・集中演習

3. スーパーヴィジョン (P. 24)

個人・集団でのスーパーヴィジョンが受けられます。

4. 教育分析 (P. 25)

心理療法家・カウンセラー、および対人援助職としての成熟性を旨す、個人心理療法・集団精神療法です。

プログラム受講に関するコンサルテーション

ご自身に最適なプログラム・ワークショップを組み合わせでご受講いただくことで、より体系的な学習・訓練を積むことが可能です。当センターでは、学びたいことや困っている事に応じて、より最適な受講プランを練るためのコンサルテーションを提供しています(15分・無料)。複数受講に限らず、1クラスのご受講からでもお気軽にご相談下さい。また、分割払いなど、お支払いに関するご相談もお受けいたします。

各コース・講座のお申込み

同封の申込用紙に必要事項をご記入のうえ、PAS 心理教育研究所までFAX・郵送・受付での手渡し、メール、いずれかの方法によってご提出ください。お申込み頂きました後、受理通知をお送りいたします。申込書は、ホームページからもダウンロードできます。なお、お申込後1週間以内に返信がない場合、お手数ですが研究所までお電話下さい。

送り先：PAS心理教育研究所

〒153-0041 東京都目黒区駒場2-8-9

TEL & FAX 03-6407-8201

ホームページ: <https://www.pas-ins.com> メール: pas@pas-ins.com

1. プロフェッショナル・スクール

数年単位の継続的な訓練を通して、PAS心理療法・精神分析的な心理療法・集団精神療法の理論・技法を学び、確実に実践できる技術・態度を習得するための訓練プログラムです。当スクールの特徴は、講義に加えて少人数クラスでの徹底した演習によって、厳しくも充実した訓練を受けることができる点にあります。バラバラな継ぎ接ぎの学習ではなく、一貫した理論背景に基づく体系的訓練を希望している方に適しています。

【心理療法課程（本科・臨床科・専攻科）の訓練の特色】

- ① PAS心理教育研究所の臨床スタッフとして、実際の臨床活動に携わりながら訓練を進めます。ケースを持ち、スーパーヴィジョンを受け、臨床実践の体験から学ぶことができます。
- ② 自身の関心からプログラムを企画・運営し、技術・技法開発を進めることが可能です。また、倫理規定に則り研究活動を行なうこともできます。
- ③ 臨床スタッフ・訓練生が経験年数を問わず一同に会し、理論学習や実習を行います。熟練したセラピスト達と共に働き訓練することを通して、ファカルティ・レベルのセラピストの技術・態度を肌で体感しながら学ぶことができます。

（１）心理療法課程 本科コース（３年課程）

３年間で、精神分析的個人心理療法の技法・事例研究法・精神分析的集団心理療法の基礎技法の習得を目指すコースです。米国のPsy.D. トレーニング・プログラムに準ずるレベルの訓練を提供します。

○ 訓練時間：毎週月曜19:00～21:00 理論講義

毎週金曜14:00～21:00 技法演習・臨床実践・スーパーヴィジョン

その他、別途定められた日程の集中研修プログラムへの参加や、PAS心理教育研究所の開所時間内の臨床実践（インテークや個人心理療法の担当、各種プログラムのセラピスト体験など）、単発プログラムへの参加など。

○ 授業料：年間792,000 円（税込・分割払い可能）

○ 修了後の進路：本科課程修了者には、修了証を発行致します。修了後は、臨床科・専攻科コースへの進学が認められます。また、研究員としてPAS心理教育研究所に所属し、引き続き臨床実践や研究に携わることができます。

（２）心理療法課程 臨床科・専攻科コース（２年課程）

本科課程修了者がさらなる臨床訓練を積むコースです。詳細はお問い合わせください。

（３）心理相談講座（１年～）

心理相談の理論と実践力を日々の仕事の中で磨いていくためのコースです。月1回のゼミを拠点とし、心理相談の理論・態度・技術を基礎から学び、錬磨していくことができます。

最初の2年は、ベーシクトレーニングと位置づけ、臨床現場で働くための基礎として、カウンセリング・ガイダンス・心理療法の基本理論を学び、臨床的態度の基本と、心理面接の始め方の基本技術を学

ぶことができます。3年次以降は「カウンセリングコース」と「心理療法コース」の2つのコースから選
び、目指す専門性に応じたトレーニングを継続することができます。

プロはプロである限り、技術も態度も理論も磨き続けます。それを可能にする場がここにあります。

<1年次・2年次：ベーシックトレーニング>

- コース長：花井俊紀 講師：中村有希、髭香代子、吉田愛
- 訓練時間：必修科目4科目。2年次は選択科目1科目を追加可。
- 研修費：264,000円（税込・分割払い可能） ○ 訓練期間：2年（1年ごとの更新）
- 受講可能クラス：詳細は別紙パンフレットをご参照ください。
- 定員：20名（カウンセリングコースと合わせて）
- 申込み：申込書審査後、講座長による面接を経て受理。

<3年次：カウンセリングコース>

- コース長：花井俊紀 講師：中村有希、髭香代子、吉田愛
- 訓練時間：必修科目3科目・選択科目最大3科目。
- 研修費：330,000円（税込・分割払い可能） ○ 訓練期間：期限なし。（1年ごとの更新）
- 受講可能クラス：詳細は別紙パンフレットをご参照ください。
- 受講資格：心理相談講座2年次の必修単位を全て取得していること。
- 定員：20名（1年次・2年次と合わせて）
- 申込み：申込書審査後、講座長による面接を経て受理。

<3年次：心理療法コース>

- コース長：中村有希 講師：小谷英文、能幸夫、髭香代子、花井俊紀、吉田愛
- 訓練時間：必修科目3科目・選択科目最大2科目。
- 研修費：330,000円（税込・分割払い可能） ○ 訓練期間：期限なし。（1年ごとの更新）
- 受講可能クラス：詳細は別紙パンフレットをご参照ください。
- 受講資格：
①心理相談講座2年次の必修単位を全て取得していること。
②心理療法の継続自験例を仕事として実施していること。
- 定員：10名
- 申込み：申込書審査後、講座長による面接を経て受理。

(4) Post-Doctoral 研修・研究コース（半年～）

心理療法関連領域の学位（博士）を有し、その領域において実践・研究の実績を積んだ者が、精神分析的システムズ心理療法の技法習得、あるいは特定の研究を遂行するためのコースです。本科および卒業後研修センターで開講される科目を選択履修し、指導ファカルティによるスーパーヴィジョンのもと年間研修計画もしくは研究目標を定めて、研修・研究を進めます。

- 研修費：年間 792,000円（税込） 半期 396,000円（税込）
- 期間：研修・研究目標の達成まで。1年ごとに在籍更新とする。遠方や海外居住などの事情により、半年単位の在籍も認める。

○ 応募資格：

1. 心理療法関連領域の学位（文学博士、心理学博士、医学博士、教育学博士、Ph.D.、Psy.D. など）を有すること。
2. 心理療法関連の臨床実務経験を5年以上有すること。
3. 学術業績レフェリー付オリジナル論文を5点以上有すること。テキスト以外の専門単著は、レフェリー付きオリジナル論文3点とみなす。

2025年度 心理療法課程本科コース入学者選考日程

(1) 書類選考：応募締切：2024/10/31（木）

(2) 選考試験

①筆記試験 2024/11/16（土）

②グループ体験（アイデンティティグループ参加） 2024年12月7日（土）・8日（日）

(3) 面接試験（審査）

より詳しい訓練内容や選考手順に関しては、募集要項をご覧ください。訓練内容など詳しくお知りになりたい場合は、お気軽に当センターまでお問い合わせ下さい。

2. 単発プログラム

※オンライン開講あり（○…対面+オンライン、●…オンラインのみ）

※状況に応じて、対面のみ及びオンラインのみに変更になる場合がございます。その場合、各講師より事前にアナウンスをいたします。

※相談講座と入門講座の必修および選択は年次が決まっています。各パンフレットをご参照ください。

プロフェッショナルスクール セミ・オープン講座					
NO.	講座名	講師	回数	開催曜日・時間	
240-1-1	心理力動論の基礎Ⅰ	能 幸夫	全8回	第2/4月	19:00-21:00
240-1-2	心理力動論の基礎Ⅱ	能 幸夫	全8回	第2/4月	19:00-21:00
240-1-3	心理力動論特論:エディプス力動論	能 幸夫	全8回	第2/4月	19:00-21:00
240-2	力動的アセスメント	能 幸夫	全8回	第1月	19:00-21:00
240-3	フロイト文献講読講座	能 幸夫	全8回	第3月	19:00-21:00
240-4	PAS基礎文献購読	花井俊紀	全36回	第1/2/4金	20:00-20:50

特別科目：プロスクールおよび心理相談講座・入門講座の必修科目

NO.	講座名	講師	回数	開催日	
240-5	事例演習I・II・III	花井俊紀	全10回	第4月	19:00-21:00
240-6	カウンセリングゼミ	花井俊紀	全10回	第1月	19:00-21:00
240-7	心理療法ゼミ	中村有希	全10回	第1月	19:00-20:45

基礎科目

NO.	講座名	講師	回数	開催日	
241-1	PAS不安力動原論	中村有希	全10回	第3水	19:00-20:45
241-2●	不安面接法	小谷英文	全10回	第3月	18:45-20:30
241-3	心理臨床の基礎訓練 I・II： 応答構成法・メンタライゼーション	吉田 愛	I：全10回 II：全10回	I：第3木 II：第1木	19:00-20:45 19:00-20:45
241-4○	ガイダンスとカウンセリングの基礎	花井俊紀	全10回	第3月	19:00-21:00
241-5○	心理療法の基礎	中村有希	全10回	第1水	19:00-20:45
241-6	事例演習基礎	花井俊紀	全10回	第2月	19:00-21:00
241-7●	オンラインPAS道場	小谷英文	全10回	第1月	18:45-20:30
241-8●	オンライン心の相談	小谷英文	全10回	第2月	18:45-20:30
241-9	教育分析グループ	髭 香代子	全10回	第3月	19:00-20:45
241-10	臨床家アイデンティティ・グループ	髭 香代子	年1回	11-12月の土日	

専門科目

NO.	講座名	講師	回数	開催日	
242-1	ロールプレイ：面接展開の基本技術	中村有希	全10回	第2木	19:00-20:45
242-2	量子力学的介入分析	小谷英文	全10回	第4木	18:45-20:30

ワークショップ・集中演習

NO.	講座名	講師	回数	開催日	
243-1	心理療法家のための応答構成法	吉田 愛・ 能 幸夫	年6回	5/19, 7/7, 9/8, 11/17, 1/19, 3/2	
243-2	精神科診断別の心理面接とセルフケアの基礎II	能 幸夫	年4回	6/2, 8/4, 10/6, 12/1	
243-3	PAS面接技法集中講座	小谷英文	年4回	6/23, 10/20, 12/15, 2/16	

看護プロフェッショナル

NO.	講座名	講師	回数	開催日	
244-1●	オンラインPAS-SCT道場	小谷英文	全10回	第4月	18:45-20:30

特別科目：プロフェッショナルスクール セミ・オープン

科目名：240-1-1 心理力動論の基礎Ⅰ

講師：能 幸夫

目標：Freud, S. の精神分析から精神分析的な心理療法への展開において、その基軸となった理論が心理力動論である。本講座は一年をかけて心理力動論の基礎を学ぶにあたっての総論として位置づけられる。Freud の心的装置の展開について概観しながら、精神分析におけるメタサイコロジーの基本概念を抑えていく。その上で、Freud の心的装置第一位相の外傷－情動モデルにおける防衛と心的外傷の力動について学ぶ。

内容：テキストおよびサブテキストを事前に読み、それに基づいて理論講義に積極的に参加し、ディスカッションを行い、理論概念の理解を確かなものにする。

1. 精神分析から精神分析的な心理療法への展開の理解
2. PAS 心理療法と心理力動論
3. 精神分析の基礎仮説とメタサイコロジー
4. Freud の心的装置の展開
5. 表現と防衛の心理力動
6. 心的外傷の心理力動

テキスト：小谷英文著『精神分析的システムズ心理療法―人は変わる―』

サブテキストとして、能幸夫編『心理力動論の基礎』も用いる（配布予定）

対象：本科以上のプロフェッショナルスクール在籍生

その他聴講生として、心理療法、カウンセリング等、臨床歴3年以上の、公認心理師、臨床心理士、PASセラピスト、精神科医、精神看護師、CNS、スクールカウンセラー、学生相談カウンセラーの現任者で申込書審査によって受講を認められた者

日程：5～8月（原則）第2・第4月曜 19:00-21:00 全8回（Ⅰ～Ⅲ全24回中の）

5/13, 5/27, 6/10, 6/24, 7/8, 7/22, 7/29, 8/5

料金：74,400円（税込）

定員：本科生を除き7名

科目名：240-1-2 心理力動論の基礎Ⅱ

講師：能 幸夫

目標：心理力動論の基礎Ⅱでは、Freud の心的装置の第二位相局所論モデルに従って、意識、前意識、無意識における力動を学ぶ。さらに、Freud の心的装置第三位相の構造論モデルにおける自我、イド、超自我の構造論的観点の各エージェンシー間の力動を学んでいく。そして、これらの観点の概念定位を確かにする。その上で、現代的な Kernberg の正常な人格構造と PAS 心理療法的人格構造図式と個人内欲動エネルギー展開図式の理解を深める。

内容：テキストおよびサブテキストを事前に読み、それに基づいて理論講義に積極的に参加し、ディスカッションを行い、理論概念の理解を確かなものにする。

1. 意識、前意識、無意識の機能
2. 抵抗と転移の力動論

3. 自我、イド、超自我とその機能
4. 生の欲動と死の欲動およびその力動
5. Kernberg の正常な人格構造
6. PAS 心理療法の人格構造図式と個人内欲動エネルギー展開図式

テキスト：小谷英文著『精神分析的システムズ心理療法一人は変わる一』

サブテキストとして、能幸夫編『心理力動論の基礎』も用いる（配布予定）

対象：本科以上のプロフェッショナルスクール在籍生

その他聴講生として、心理療法、カウンセリング等、臨床歴3年以上の、公認心理師、臨床心理士、PASセラピスト、精神科医、精神看護師、CNS、スクールカウンセラー、学生相談カウンセラーの現任者で申込書審査によって受講を認められた者

日程：9月～1月（原則）第2・第4月曜 19:00-21:00 全8回（Ⅰ～Ⅲ全24回中の）

9/9, 9/30, 10/28, 11/11, 11/25, 12/9, 12/23, 1/6

料金：74,400円（税込）

定員：本科生を除き7名

科目名：240-1-3 心理力動論特論:エディプス力動論

講師：能 幸夫

目標：『心理力動論の基礎』の特別講義。Freudの神経症論の中核葛藤としてのエディプス力動について、その概念定義と普遍性について理解する。また、エディプスコンプレックスの発見の過程としてのFreudの自己分析のプロセスと、エディプス力動を扱うエディプス面接法について学ぶ。

内容：テキストおよびサブテキストを事前に読み、それに基づいて理論講義に積極的に参加し、ディスカッションを行い、理論概念の理解を確かなものにする。

1. エディプスコンプレックスとエディプス力動
2. エディプスコンプレックスの普遍性と病理性
3. Freudの自己分析
4. エディプス面接法①
5. エディプス面接法②
6. エディプスコンプレックスの諸相

テキスト：小谷英文著『精神分析的システムズ心理療法一人は変わる一』

サブテキストとして、能幸夫編『心理力動論の基礎』も用いる（配布予定）

対象：本科以上のプロフェッショナルスクール在籍生

その他聴講生として、心理療法、カウンセリング等、臨床歴3年以上の、公認心理師、臨床心理士、PASセラピスト、精神科医、精神看護師、CNS、スクールカウンセラー、学生相談カウンセラーの現任者で申込書審査によって受講を認められた者

日程：1～4月（原則）第2・第4月曜 19:00-21:00 全8回（Ⅰ～Ⅲ全24回中の）

1/27, 2/10, 3/10, 3/24, 3/31, 4/14, 4/21, 4/28

料金：74,400円（税込）

定員：本科生を除き7名

科目名：240-2 力動的アセスメント

講師：能 幸夫

目標：力動的アセスメントは、精神科医による診断とは目的が異なる。精神医学診断は病気か否か、病気であるならその種類の特定化にある。心理療法におけるアセスメントは、心理療法の目的を達成するために当事者の持つ能力を評価することに狙いがある。したがって、力動、すなわち人格機能の能力を同定するものであり、機能は常に動いているものであるから、力動的機能を評価し、それを根拠とした力動診断につなぐものでなければならない。本コースは、この力動的アセスメントを実践体験的に学び、基本的な手続きを身につけることを目標とする。

内容：各自が持ち寄った事例に基づき、その力動的アセスメントを、ディスカッションを通じて同定していく。その際に、以下の内容に関わる視点からアセスメントを明らかにしていく。臨床家としてのアセスメント能力の向上のために、各事例のもつ特徴を取り上げ、アセスメントからケースフォーミュレーションの組み立てに連なる目付けを確かなものにしていく。

1. PAS-PDSE：PAS-心理力動状態査定 of の使い方
2. セラグノーシスの手順
3. クライアントの人格構造機能水準のアセスメント
4. パーソナリティスタイルのアセスメント
5. 発達課題のアセスメント
6. 葛藤に関わる防衛と適応機制のアセスメント

対象：本科以上のプロフェッショナルスクール在籍生

その他聴講生として、心理療法、カウンセリング等、臨床歴3年以上の、公認心理師、臨床心理士、PASセラピスト、精神科医、精神看護師、CNS、スクールカウンセラー、学生相談カウンセラーの現任者で申込書審査によって受講を認められた者

日程：第1月曜日 19:00-21:00 全8回

6/3, 7/1, 9/2, 10/7, 12/2, 2/3, 3/3, 4/7

料金：74,400円（税込）

定員：本科生を除き7名

科目名：240-3 フロイト文献講読講座

講師：能 幸夫

目標：フロイト文献講読講座第IX期は、PAS本科の理論コースの一部をセミ・オープンとして開講する。フロイトのもっとも確かな業績のひとつは、無意識過程の心における働きを表に上げたことである。この無意識がわれわれの日常生活にどれほど強く影響を与えているか。無意識過程と精神分析のもつ意味の啓蒙として書かれた「日常生活の精神病理にむけて」と「機知」はフロイトの初期の業績である。その「機知」と関連するフロイトの論考の後期の「フモール」を合わせて読み込んでいく。

内容：

1. 8回の各回に以下の諸章を読み込んでいく。
 01. 日常生活の精神病理にむけて①
 02. 日常生活の精神病理にむけて②
 03. 日常生活の精神病理にむけて③
 04. 日常生活の精神病理にむけて④

- 05. 機知—その無意識との関連①
- 06. 機知—その無意識との関連②
- 07. 機知—その無意識との関連③
- 08. フォーム・全体のまとめ

- 2. あらかじめ配布された文献を事前に読み、面白いと思ったところを3か所用意する。
- 3. 仲間と積極的にディスカッションし、文献の理解を深める。

受講条件：現任の臨床家（臨床心理士、公認心理師、医師、看護師、ソーシャルワーカー、作業療法士など）および関心のある大学院生（臨床心理など）；PAS 本科生必修

対象：初心から中堅、もしくはベテランの臨床家およびフロイトに直接関心のある人（必ずしも臨床家にかぎらずフロイトに関心のある人も可）

日程：5月～3月 第3月曜日 19:00-21:00 全8回
5/20, 6/17, 10/21, 11/18, 12/16, 1/20, 2/17, 3/17

料金：74,400円（税込）

定員：本科生以外7名まで

科目名：240-4 PAS 基礎文献購読

講師：花井俊紀

目標：心理療法の基礎文献の購読を通して、サイコセラピイの基礎を学ぶこと。また、文献の読み方についても学ぶこと。

内容：本クラスは、PAS 心理教育研究所プロフェッショナルスクール心理療法課程で学ぶために必要な基礎を養うクラスである。

第1・2週は、小谷英文著『そのときどうする』を購読し、心理療法の場におけるクライアントとセラピストの協働とは何か、その時々を生じる「そのときどうする」という瞬間に、セラピストはなにをやるのか、を学ぶ。また文献を読みながら、『精神分析的システムズ心理療法』『ケースフォーミュレーション』など、他のPASのテキストの関連箇所を必要に応じて読み、理解を進める。

第4週は、L.H. Rockland 著『Supportive Therapy: A Psychodynamic Approach』を原文で読み、力動的な支持的心理療法について学ぶ。力動的な支持的心理療法には、心理療法のエッセンスがたくさん詰まっている。著者の意図やニュアンスをそのまま理解するためには、訳者の解釈が入っていない原文を読むことが最適である。

テキスト（各自用意のこと）：小谷英文著『そのときどうする』PAS 心理教育研究所出版部

小谷英文著『精神分析的システムズ心理療法—人は変わる—』PAS 心理教育研究所出版部

小谷英文著『ケースフォーミュレーション—困難患者の臨床と研究の基軸—』PAS 心理教育研究所出版部

L.H. Rockland 著『Supportive Therapy: A Psychodynamic Approach』Basic Books

対象：①PAS 心理教育研究所プロフェッショナルスクール心理療法課程本科生・臨床科生・専攻科生、および予科生、②精神分析的な心理療法を実践している者で、講師によって受講が認められた者。

日程：第1・2・4金曜日 20:00-20:50（50分）（5月と1月は第1金曜日は休み。第5金曜日に実施）全36回（全回参加のこと）

料金：79,200円（税込）

定員：10名（対象①を優先し、定員に空きがある場合、対象②を先着順に受け付ける。）

特別科目：プロスクールおよび心理相談講座の必修科目

科目名：240-5 事例演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

講師：花井俊紀

目標：ケースフォーミュレーションを明示した事例報告、さらには事例研究ができる能力を身につけることが目標である。1年間で最低一本は事例報告を完成し、学会発表を目指す。

内容：

1. 実践事例のケースフォーミュレーション
2. 事例報告・事例研究のスーパーヴィジョン

※ 初回のクラスまでに、事例報告を行う自験例1例を決めて参加のこと。

※ ケースフォーミュレーションの基本的理解に自信がない方は、併せて「事例演習基礎」のクラスを受講することを勧める。

テキスト：小谷英文(2022) 『ケースフォーミュレーション—困難患者の臨床と研究の基軸—』

対象：心理相談講座心理療法コース・予科ゼミ受講生

日程：第4月曜日 19:00-21:00 全10回

5/27, 6/24, 7/22, 9/30, 10/28, 11/25, 12/23, 2025/1/27, 3/24, 4/28

科目名：240-6 カウンセリングゼミ

講師：花井俊紀

目標：カウンセリング・ガイダンスの実践に必要な、1) 臨床的態度、2) 面接の手順・組み立て、及び、3) 基本面接技術を身につけること。心理相談講座の必修科目で学んだ理論を、実践につなぎ、受け身的でなく、能動的に心理面接を実施できるようになることが目標である。

内容：ゼミは、第1回から第5回までは、カウンセリンググループ体験と講義によって構成される。カウンセリンググループに参加し、その中で心理相談面接に必要な臨床的態度を磨くことに取り組む。

第6回から第10回は、前半カウンセリンググループ体験、後半面接技術演習によって構成される。引き続き臨床的態度を磨きながら、基本面接技術として応答構成面接法の練習に取り組む。

1. カウンセリング・ガイダンスの目的と適応
2. PAS10ルールと臨床的態度
3. PEA 紐過程
4. ピニーのストレス症候発達図式
5. 教育分析とスーパーヴィジョン
6. ファーストコンタクトと相互作用メンタルメトリックスの意識化
7. 応答構成面接法

8. ケースフォーミュレーション

テキスト：小谷英文（2018）『精神分析的システムズ心理療法一人は変わるー』

対象：心理相談講座1年次・2年次、カウンセリングコース受講生

日程：第1月曜日 19:00-21:00 全10回

6/3, 7/1, 8/5, 9/2, 10/7, 12/2, 2025/1/6, 2/3, 3/3, 4/7

科目名：240-7 心理療法ゼミ

講師：中村有希

目標：心理療法コースの各クラスの学びが心理療法の実践とどう結びつき、展開されているかを確認し、理論-技法-実践を一体化し、専門性の根を張ることを追求する。

内容：自験例のアセスメントとケースフォーミュレーションをもとに、上記目標を追求するスーパービジョンを受け、以下の課題演習を合同で徹底して行う。

- 1) ケースフォーミュレーションの構成
- 2) ケースフォーミュレーションの分析
- 3) ケースフォーミュレーションの再構成

受講条件：心理療法講座の講座生

対象：現任の心理職、精神科医、看護師、心理職を目指す大学院生

日程：第1月曜日 19:00-20:45 全10回

6/3, 7/1, 8/5, 9/2, 10/7, 12/2, 2025/1/6, 2/3, 3/3, 4/7

基礎科目

科目名：241-1 PAS 不安力動原論

講師：中村有希

目標：現代の多くの臨床処方不安を遠ざけている。不安を正面から取り上げ治療課題としたのがフロイトであった。精神分析が医療の表舞台から退いた今日、実際には心理療法やカウンセリング、そのほか全ての心理相談で対峙する表玄関ともいえる不安を理解する術が失われている。フロイトの心の理解を基軸とするPAS理論においては、不安は最も重要な変数と見なされている。この不安力動を理解することが本コースの目標である。

内容：「不安」をキーワードに、フロイトの心の理解、心理力動について1から学びたい人のための講座である。

1. 心の働き：構造論・欲動展開理論
2. PEA理論
3. ストレス症候発達理論
4. 驚愕反応
5. 現実不安と神経症不安

対象：現任の心理職、精神科医、看護師、CNS、心理職を目指す大学院生

日程：第3水曜日 19:00-20:45 全10回

5/15, 6/19, 7/17, 9/18, 10/16, 11/20, 12/18, 2025/1/15, 2/19, 3/19

料金：93,000円（税込）

定員：15名

科目名：241-2 不安面接法*オンラインのみ

講師：小谷英文

目標：カウンセリングや心理療法は、最初の数回が勝負である。実践の場では、数回、昨今では1,2回で中断も珍しくない。それは不安が無視されるためだと言い切ってもよい。現代のカウンセリングや心理療法では、最初の面接で適切な不安対応がなされないと、後の展開はない。不安を捉え、不安の奥にある新しい自分の粒を見つけると、不安は自分の味方になる。熟練したセラピストや組織のトップ、そしてトップアスリートはその秘密を知っている。その秘密を体験的に学び、自分の臨床の入り口を明るくしよう。

内容：

1. 不安面接法技法基軸
2. 不安力動
3. フィードバック力学
4. 不安のアセスメント
5. 不安面接法の展開

参考図書：

小谷英文（2015）. 新版 カオスと混沌：武蔵とモンロー. 東京：PAS心理教育研究所出版部.

小谷英文（2018）. 精神分析的システムズ心理療法：人は変われる. 東京：PAS心理教育研究所出版部.

小谷英文（2021）. 不安ノート. 東京：PAS心理教育研究所出版部.

小谷英文（2022）. ケースフォーミュレーション；困難患者の臨床と研究の基軸. 東京：PAS心理教育研究所出版部.

小谷英文（2023）. そのときどうする. 東京：PAS心理教育研究所.

対象：臨床心理士、医師、CNS、SC、メンタルコーチ、コンサルタント、教師

日程：第3月曜日 18:45-20:30 全10回

5/20, 6/17, 7/29, 10/21, 11/18, 12/16, 2025/1/20, 2/17, 3/17, 4/21

料金：93,000円（税込）

定員：12名

科目名：241-3 心理臨床の基礎訓練Ⅰ・Ⅱ：応答構成法・メンタライゼーション

講師：吉田 愛

目標：

I：セラピストおよびカウンセラーとして自分と相手に関心を持って会う姿勢、および臨床的態度を身につける。また、自分の応答の癖（今の自分の面接技術）をつかみ、面接場面における自分と相手の精神過程をたどれるようになる。具体的には、応答構成マトリックスを使えるよう

になることを目指す。

II：理論学習及び今持っている技術を実践しながら、専門家としての臨床的態度および、カウンセリング及び心理療法の技法を磨く。具体的には、応答構成における応答のバリエーションを増やす、またメンタライジング技法を身につける。

内容：カウンセリング・心理療法のいずれも、カウンセラーやセラピストが自分の資源を有効に活かして相手との空間を作り、保持し、その時間空間での相互作用によって変化を生み出していく。そのためにはまず、臨床家自身が自分自身の精神過程をとらえる力をつける必要がある。それをふまえ、本クラス（I・IIともに）は、以下の実践と理論学習によって進める。

・「応答構成ベーシック訓練法」で、臨床的態度や自分の応答の特徴を実践の中でつかむ。自分と相手の精神過程を分けて辿り、自分らしい応答を作る。

・「メンタライゼーション理論」学習において、自分と他者それぞれの精神状態に関心を向けるメンタライジングの実践とその理論について知識を深める。

受講条件：心理職の現任者（臨床心理士、公認心理師、医師等）。もしくは、心理職および対人援助職（福祉・教育など）を目指している大学院生であること。

対象：臨床家としての基本的な態度・技術を身につけたい、磨きたい方。

日程：I：第3木曜日 19:00-20:30 全10回（心理相談講座1, 2年次の方）

II：第1木曜日 19:00-20:30 全10回（心理相談講座3年次以降の方）

※受講人数によってはIにまとめて実施予定

I：5/16, 6/20, 7/18, 8/15, 9/19, 10/17, 11/21, 12/19, 2025/1/16, 2/20

II：5/2, 6/6, 7/4, 8/1, 9/5, 10/3, 11/7, 12/5, 2025/2/6, 3/6

料金：93,000円（税込） 各回受講：11,000円（税込）※ただし最終回の単発受講申込は不可

定員：各10名（心理相談講座受講生を優先します）

科目名：241-4 ガイダンスとカウンセリングの基礎*オンライン対応

講師：花井俊紀

目標：ガイダンスおよびカウンセリング心理学の歴史的展開と系譜、現代の位置付けを理解し、実践技法を学ぶ基礎となる理論を身につけることを目標とする。

内容：講義と演習

1. ガイダンスとカウンセリング誕生の背景：近代市民社会の成立と市民教育
2. 黎明期のガイダンスとカウンセリング：1900年代から1950年代までの歴史的展開
3. 非指示的アプローチから来談者中心、人間性中心アプローチへの展開：C.R. Rogersの貢献
4. カウンセリング心理学の定義：アメリカ心理学会の定義の変遷
5. ガイダンスの実際：理論と技術の実践
6. カウンセリングの理論と技法：治療的人格変化のための必要十分条件・体験と経験・人格発達・相互作用メンタルメトリックス
7. カウンセリングと心理療法：違いと共通性
8. 現代におけるカウンセリングの役割

テキスト：小谷英文（1993）『ガイダンスとカウンセリング』 北樹出版

受講条件：①次の有資格者および受験資格保持者：公認心理師、臨床心理士、医師、看護師、教師、精神保健福祉士、社会福祉士、②上記資格を持たないが、申込審査で受講を認められた

者

対象：教育、医療、福祉、人事などの領域で対人援助職に従事している方。

日程：第3月曜日 19:00-21:00 全10回

5/20, 6/17, 7/29, 10/21, 11/18, 12/16, 2025/1/20, 2/17, 3/17, 4/21

料金：93,000円（税込）

定員：20名

科目名：241-5 心理療法の基礎*オンライン対応

講師：中村有希

目標：ヒステリー研究を軸に、心理療法が成立するに至った臨床心理学の系譜を辿りながら、心理療法成立の過程、カウンセリングと心理療法の違い、心理療法を学ぶ上で欠かせない基礎概念と理論（局所論・構造論・発達論）を学ぶ。事例を交えた講義を展開する。遠隔からのオンライン受講可能。これから心理療法を習得したい専門家向けの基礎講座である。

内容：

1. フロイト以前
2. フロイト以降
3. 人間性回復運動
4. 心理療法黄金時代
5. 現代の臨床心理学

対象：現任の心理職、精神科医、看護師、心理職を目指す大学院生

日程：第1水曜日 19:00-20:45 全10回（10月は第5水曜も開講）

6/5, 7/3, 8/7, 9/4, 10/2, 10/30, 11/6, 12/4, 2025/2/5, 3/5

料金：93,000円（税込）

定員：15名

科目名：241-6 事例演習基礎

講師：花井俊紀

目標：臨床心理学における事例とは、本来危機状況の「人」と向かい合い、つまり1対1で死の床に待り、自分と相手と1対1で徹底して相手を理解するということを意味する。目に見えない心だからこそ、その理解は科学的になされる必要がある。本クラスは、臨床家や相談者が、個々一人一人の人とどのように向かい合うことができるのか、事例理解とはどういうことなのか、科学的に人を理解するとはどういうことか、を理解することを目標とする。基礎クラスとして、ケースフォーミュレーションの汎用フォーマット2W1Hを書けるようになることを目指す。

内容：講義と演習

年度前半は、ケースフォーミュレーションを作成するために必要な臨床データを得るために必要な知識・態度を学ぶ。年度中盤以降は、毎回、心理相談事例に向かい合う。事例資料を元に、各自がケースフォーミュレーションを作成しながら、事例の理解を紐解いていく。その中で、ケースフォーミュレーションを作成するために必要なアセスメントの基礎を学ぶことができる。事例となっている多くの人に会う演習である。

1. ケースフォーミュレーションと心理面接の組み立て
2. 観察と臨床事実
3. 事実とストーリー
4. アセスメント：PEA 紐過程・欲動エネルギー展開図式・ストレス症候発達図式
5. ケースフォーミュレーション：汎用フォーマット 2W1H

テキスト：小谷英文（2022）『ケースフォーミュレーション—困難患者の臨床と研究の基軸—』

受講条件：①次の有資格者および受験資格保持者：公認心理師、臨床心理士、医師、看護師、教師、精神保健福祉士、社会福祉士、②上記資格を持たないが、申込審査で受講を認められた者。

対象：教育、医療、福祉、人事などの領域で対人援助職に従事している方。

日程：第2月曜日 19:00-21:00 全10回

5/13, 6/10, 7/8, 9/9, 11/11, 12/9, 2025/2/10, 3/10, 3/31, 4/14

料金：93,000円（税込）

定員：30名

科目名：241-7 オンラインPAS道場*オンラインのみ

講師：小谷英文

目標：精神分析的システムズ心理療法（PAS カウンセリング／心理療法／セルフケア・セラピー）の技術錬磨を進め技法を身体化することを目標とする。

内容：演習

自験例のケースフォーミュレーションをベースに、介入ターゲットとなる独立変数と治療目標となる従属変数の軸を見出し、鍵展開技法の同定による治療展開戦略と治療者の課題を明確にする。特定展開技法が、ロールプレイによる運用技法の錬磨を行う。

テキスト：

小谷英文（2018）. 精神分析的システムズ心理療法：人は変われる. 東京：PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文（2022）. ケースフォーミュレーション；困難患者の臨床と研究の基軸. 東京：PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文（2023）. そのときどうする. 東京：PAS 心理教育研究所.

受講条件：カウンセリング／心理療法の実践に携わり自験例のあること。

対象：臨床心理士、精神科医、精神看護 CNS、教師

日程：第1月曜日 18:45-20:30 全10回

6/3, 7/1, 8/5, 9/2, 10/7, 12/2, 2025/1/6, 2/3, 3/3, 4/7

料金：93,000円（税込）

定員：12名

科目名：241-8 オンライン心の相談*オンラインのみ

講師：小谷英文

目標：さまざまな病気の素になり、ハイパフォーマンスの素にもなる「不安」と「不適応（適応障害）」に関わる心の働きを理解し、どのような相手でも心の相談の口火を開き、相談に乗るこ

とができるようになること。相談を受けながら詰まった場面を展開のチャンスにする力をつけること。

内容：対話とインシデント法による対話練習と解説

どのような精神的不調にも何らかの形の「適応障害」が現れます。その予兆に誰よりも早く気がつくのが本人であり見過ごすのも本人です。その予兆が「不安」です。その不安は、話者相手にも周囲の人にも移り（感染し）対応不能が容易に起こり、適応障害に、うつにさらにさまざまな病気やトラブルを引き起こします。

本講座では、カウンセリングやその他の相談活動、親子や大事な人間関係における対話展開に疑問を感じ、詰まってしまう困った場面に、相互の「適応」の問題とその背後に「不安」が存在することを理解し、そこで具体的にどうできるかを学んでいきます。

対象：カウンセラー、コンサルタント、精神看護師、メンタルプロ、教師、親

日程：第2月曜日 18:45-20:30 全10回

5/13, 6/10, 7/8, 9/9, 11/11, 12/9, 2025/2/10, 3/10, 3/31, 4/14

料金：通年参加：45,000円（税込） 各回参加：1回5,000円（税込）

定員：12名

科目名：241-9 教育分析グループ

講師：髭 香代子

目標：同じ心理職・対人援助職として働く同僚グループの力を使いながら、心理職・対人援助職として働く自分と率直に向き合い、自分の特徴、目標を明確にし、課題を越えていくこと。

内容：45分間の集団精神療法×2セッション

主なルール：心理職・対人援助職としてのアイデンティティを意識すること。今ここでの体験、感覚、気持ち、連想を言葉で率直に表現すること。メンバーの表現を聞き、それに対する反応も表現すること。内密性を守ること。

対象：心理職・対人援助職

日程：(原則) 第3月曜日 19:00-20:45 全10回

5/20, 6/17, 7/29, 10/21, 11/18, 12/16, 2024/1/20, 2/17, 3/17, 4/21

料金：55,000円（税込）

定員：10名

科目名：241-10 心理職・対人援助職アイデンティティ・グループ

講師：髭 香代子

目標：心理職・対人援助職としての自分のアイデンティティを確かめ、ありたい臨床家像を追求すること。

内容：60分間の集団精神療法×8セッション（土曜5セッション・日曜3セッション）

主なルール：心理職・対人援助職としてのアイデンティティを意識してグループに参加すること。今ここでの体験、感覚、気持ち、連想を言葉で率直に表現すること。メンバーの表現をしっかり聞き、それに対する反応も表現すること。内密性を守ること。

対象：臨床心理士、公認心理師、医師、看護師、ソーシャルワーカーなど、対人援助の臨床家

日程：土曜日 10:00-16:45、日曜日 10:00-13:30 ※2024 年 11 月に開催予定

料金：33,000 円（税込）

定員：7 名

専門科目

科目名：242-1 ロールプレイ：面接展開の基本技術

講師：中村有希

目標：力動的面接法の基本となる心的エネルギーの捉えを基軸にした面接展開技術をロールプレイ体験によって精錬する。DER 技法、応答構成面接法、事例性面接法、インシデント面接法、3 分間介入面接法、ワーキングスルー面接法の基本技術を身につける。

内容：初心者からベテランまで、各自のレベルで面接の基本技術を身につけることができる講座である。

1. インテーク面接の基本技術
2. プロセス展開の基本技術
3. 中核葛藤分析の基本技術
4. 危機介入面接の基本技術

対象：現任の心理職、精神科医、看護師、心理職を目指す大学院生

日程：第 2 木曜日 19:00-20:45 全 10 回

5/9, 6/13, 7/11, 9/12, 10/10, 11/14, 12/12, 2025/1/9, 2/13, 3/13

料金：93,000 円（税込）

定員：15 名

科目名：242-2 量子力学的介入分析

講師：小谷英文

目標：事後性の力動介入ではなく、過去も現在も未来も重ね合わせてある今ここの時間空間に、時間を無くすかの如くの力動展開を図る精神分析的システムズ心理療法の量子力学的介入技法を習得することを目的とする。コース目標は、練習をすることができる量子力学的面接法の基本の型を身につけることに置く。

内容：演習

インシデント法、すなわち心理療法面接において展開の詰まった場面を取り出し、その時その場で「どうするか」を明確に展開し、クライアントとセラピスト両者のデュアル抵抗を解く演習を重ねる。具体的には、詰将棋の逆展開、すなわち詰められて身動きできなくなった王将を解き放つ介入の練習を重ねる。デュアル抵抗によって膠着状態となった心理面接インシデント場面を、PAS 基本技術をフル活用して面接プロセスを動かす転回を図る基本型を学ぶ；基本技術 1) 応答構成面接基本技法、2) DER 技法、3) メンタライジング、4) ロール・テイキング 5) セラグノーシス、を活かし量子力学的面接法ステップ 1. 不安面接法、ステップ 2. 介入面接法、ステップ 3. 量子力学的介入法、の介入基本型演習。

*精神分析的システムズ心理療法固有の面接技法の習得はここから始まり、この技法の習得に終わる。終わりのない、磨き続けなければならない臨床アートのコースである。PAS 心理療法を学ぼうとするのであれば初心者も歓迎。

テキスト：

小谷英文(2023). そのときどうする. 東京：PAS 心理教育研究所.

小谷英文(2018). 精神分析的システムズ心理療法：人は変われる. 東京：PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文(2022). ケースフォーミュレーション；困難患者の臨床と研究の基軸. 東京：PAS 心理教育研究所出版部

受講条件：メンタルプロフェッショナル（医師、心理士、看護師、メンタルコーチ、エグゼクティブ・コーチ、人事管理者）の実践事例を有していること

対象：臨床心理士、精神看護 CNS、精神科医、教師

日程： 第 4 木曜日 18:45-20:30 全 10 回

5/23, 7/25, 9/26, 10/24, 10/31,

11/28, 12/26, 2025/1/23, 2/27, 3/27

料金：93,000 円（税込）

定員：20 名

ワークショップ・集中演習

科目名： 243-1 心理療法家のための応答構成法

講師：吉田 愛・能 幸夫

目標：心理職として面接場面でどのようにクライアントに反応し、応えているのか、自分の特徴をつかむ。また、自分の応答バリエーションを増やし、精錬していく。

クライアントの具体的な発言に対して、ワークシートを使いながら、自分とクライアントの「考えと認知」、「気持ちや感情」、「行動」を識別し、自分らしくクライアントに応答できるようになることを目指す。（※このプログラムには事前課題があります）

内容：応答構成とは、架空の事例のある心理療法場面（抜粋）を読み、自分であればどのように応えるか、実際に応答を作ってみるグループワークショップです。

1. 思春期女子と中年期男性の心理療法の 16 の面接場面において、応答をつくる。
2. 自分の「考えと認知」「気持ちや感情」「行動」（実際の応答）を振り返り、自分の特徴をつかむ。
3. メンバーや講師のコメントや応答を活かし、自分の応答を精錬する。
4. 最終回には、16 抜粋の応答をマニュアルに沿って分析し、対人援助職の自分としての特徴を総括する。

また、心理療法の理論をより実践的に学ぶために、各セッションで作った応答を使ったロールプレイも取り入れる。

受講条件：臨床心理士および公認心理師の有資格者。もしくは心理系大学院生。

対象：心理職に従事している方。もしくは心理職を目指す大学院生。現在、心理療法を行っていない方でも関心のある方は参加可能（事前にご相談ください）。

日程：日曜日 9:30-17:15 全6回
5/19, 7/7, 9/8, 11/17, 2025/1/19, 3/2

料金：通年参加：91,800円（税込）
各回参加：1回 17,000円（税込）※最終回のみ参加は受け付けておりません

定員：各回8名内外

科目名：243-2 精神科診断別 心理面接とセルフケアの基礎Ⅱ

講師：能 幸夫

目標：精神科診断別の心理面接とセルフケアの基礎Ⅱでは、精神科診断に限らず、患者/クライアントのアセスメントに役立つパーソナリティスタイル理論の基礎を学んだ上で、その基礎知識を生かしたかたちで、心理面接とセルフケアの組み立ての基礎を学んでいく。ヒステリーや強迫神経症の人が必ずしも、パーソナリティスタイルの演技スタイルや強迫スタイルのみで生きているわけではない。パーソナリティスタイルの各々の基礎仮説を理解することは、すべての臨床に役立つ。

内容：今年度の年4回の精神科診断別のワークショップのテーマは以下の通りである。

1. パーソナリティスタイルの基礎理論
2. 身体表現障害・解離性障害；ヒステリーの理解と心理療法の基礎技法
3. 精神病、特に統合失調症スペクトラム障害の理解とそのセルフケア
4. 強迫性障害；強迫神経症の理解と心理面接の基礎技法

対象：公認心理師、臨床心理士、PASセラピスト、ソーシャルワーカー、精神科医、精神看護師、CNS、スクールカウンセラー、学生相談カウンセラー（特に初任者は歓迎する）

1回目と3回目は、特にソーシャルワーカー（医療ソーシャルワーカーや精神保健福祉士）にとって役立つ構成となる。

日程：日曜日 9:30-16:30 全4回
6/2, 8/4, 10/6, 12/1

料金：通年参加：54,400円（税込） 各回参加：1回 17,000円（税込）

定員：10名内外

科目名：243-3 P A S 面接技法集中講座

講師：小谷英文

目標：今現在のPAS面接法技法習熟度を自己確認し、さらに技法能力を高める。

内容：講義と演習

参加者各自のケースフォーミュレーションに現れる課題をもとに、PAS力動面接法、応答構成面接法を基礎に、DER技法、メンタライジング、ロールテイキング、セラグノーシス、構成-再構成面接法、の基礎技法から量子力学面接法のステップ1不安面接法、ステップ2介入分析法、ステップ3量子力学介入法に展開するトレーニングを行う。

テキスト：

小谷英文(2018). 精神分析的システムズ心理療法：人は変われる. 東京：PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文(2022). ケースフォーミュレーション；困難患者の臨床と研究の基軸. 東京：PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文(2023). そのときどうする. 東京：PAS 心理教育研究所.

受講条件：PAS 技法を用いて臨床実践をしている臨床家

対象：臨床心理士、精神看護 CNS、精神科医、教師

日程：日曜日 10:00-16:30 全4回

6/23, 10/20, 12/15, 2025/2/16

料金：各回 22,000 円（税込）

定員：20 名

看護プロフェッショナルプログラム

科目名：244-1 オンライン PAS-SCT 道場*オンラインのみ

講師：小谷英文

目標：PAS-SCT ケースフォーミュレーションをベースにしたセルフケア看護の臨床能力の基礎を固め、臨床実践に体系的に取り組む能力を自覚的にすることを目標とする。

内容：実践事例のケースフォーミュレーションと看護介入展開の臨床的妥当性の検討

1. 実践ケースフォーミュレーション
2. 介入インシデント場面の検討
 - 1) 介入基本展開のプラン構成
 - 2) 介入セラグノーシス
 - 3) 技術的ポイントの確認
3. 臨床自己課題の明確化

参考図書：

小谷英文(2015). 新版 カオスと混沌：武蔵とモンロー. 東京：PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文(2018). 精神分析的システムズ心理療法：人は変われる. 東京：PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文(2021). 不安ノート. 東京：PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文(2022). ケースフォーミュレーション；困難患者の臨床と研究の基軸. 東京：PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文(2023). そのときどうする. 東京：PAS 心理教育研究所.

受講条件：セルフケア看護を実践していること

対象：専門看護師

日程：第4月曜日 時間：18:45-20:30 全10回

5/27, 6/24, 7/22, 9/30, 10/28, 11/25, 12/23, 2025/1/27, 3/24, 4/28

料金：通年参加：71,000 円（税込） 各回参加：1回 7,300 円（税込）

定員：12名

3. スーパーヴィジョン

心理臨床に関わる理論は高度に抽象化されており、理論と技法とのつながりを実践的につかむことは容易ではありません。理論・技法を学んでも、それらの理論が現実場面でどのように現れるのか、学んだ技法を実践の中でどう現実化していくのかわらなければ、学んだ理論・技法を使うことはできません。当センターのスーパーヴィジョンでは、理論・技法を実践に落とし込んでいく作法と技術、態度を、専門家として厳しく追求していくための機会を提供します。スーパーヴィジョンには、個人で受ける個人スーパーヴィジョンと、専門家が集まって共に受ける集団スーパーヴィジョンがあります。当センターでは集団スーパーヴィジョンも受け付けております。

当研究所では、以下に関わるスーパーヴィジョンを受け付けております。

- ・ カウンセリング
- ・ 心理療法
- ・ 集団精神療法
- ・ プレイセラピー
- ・ アセスメント
- ・ 学級経営
- ・ 災害支援
- ・ ワークショップ
- ・ コンサルテーション

【個人スーパーヴィジョン】

○対象：臨床心理士、公認心理師、教師、看護師、医師、ソーシャルワーカー、精神保健福祉士など対人援助職に携わる方。初心者からベテランまで経験年数は問いません。

○料金：45分 11,500円～（個人・税込） 30分 7,700円～（個人・税込）

* 頻度はご相談ください。

【グループ・スーパーヴィジョン】

『対人援助職のためのグループ・スーパーヴィジョン：行き詰まった対話の展開の鍵を掴む』（オンライン）

○日時：第4土曜日 11時～12時 定員：4名

○料金：3,680円/1回1ケース

○対象：対人援助職の方ならどなたでも可。初心者大歓迎。医師、看護師、保健師、保育士、ソーシャルワーカー、教師等々

○最少開催人数：2名以上

4. 教育分析

1978年、私は著名なH. Greenbaum先生に教育分析（training analysis）を受けたいとお願いしました。先生の応えは、「教育分析とは何ですか？ 私はアナリストやセラピストの分析・心理療法はやっていますが、それでは不都合なのですか？」でした。ニューヨーク大学ベルビュー病院での、いきなりの分析体験でした。

当研究所の個人心理療法・集団精神療法による教育分析は、心理療法家・カウンセラーの成熟性を目指す心理療法です。

PAS心理教育研究所 理事長 小谷 英文

当センターの教育分析には、個人で受ける個人教育分析と、専門家が集まって共に受ける集団精神療法やアイデンティティ・グループがあります。

(1) イン트로ダクトリー教育分析

教育分析を体験してみたい方向けの5回バックプログラムです。

料金・時間： 初回面接+教育分析5回のバック

初回面接（45分）11,500円（税込）～（担当セラピストによる）

その後、週1回（45分）9,300円（税込）～（担当セラピストによる）

(2) 個人教育分析・集団教育分析

○個人教育分析

受講条件・対象：臨床心理士および公認心理師有資格者、もしくは受験資格取得者。

その他、対人援助専門職の方。

料金：初回面接（90分）17,000円（税込）

その後は週1回（45分）11,500円（税込）～（担当セラピストによる）

○教育分析（グループ）

受講条件・対象：臨床経験10年以上の男女

日程：第1・3木曜日 19:00-19:50

料金：16,500円/月

セラピスト：小谷英文

お申込みはお電話もしくはホームページの「教育分析」のページから申込フォームをお送りください。